

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 23日

徳島県知事 殿



提出者

住 所 徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1

氏 名 富田製薬株式会社 本社工場

代表取締役 富田 純弘

電話番号 088-688-0511



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富田製薬株式会社 本社工場
事業場の所在地	徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	前年度売上げ 206億円
③従業員数	623名（パート社員を含む）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	原材料などから生産等各工程を経て、産業廃棄物の排出、中間処理委託に至るまでの、一連の工程のフロー図を別紙（第1面関係）で記載する。

別紙(第1面関係)

産業廃棄物処理の一連の処理の工程

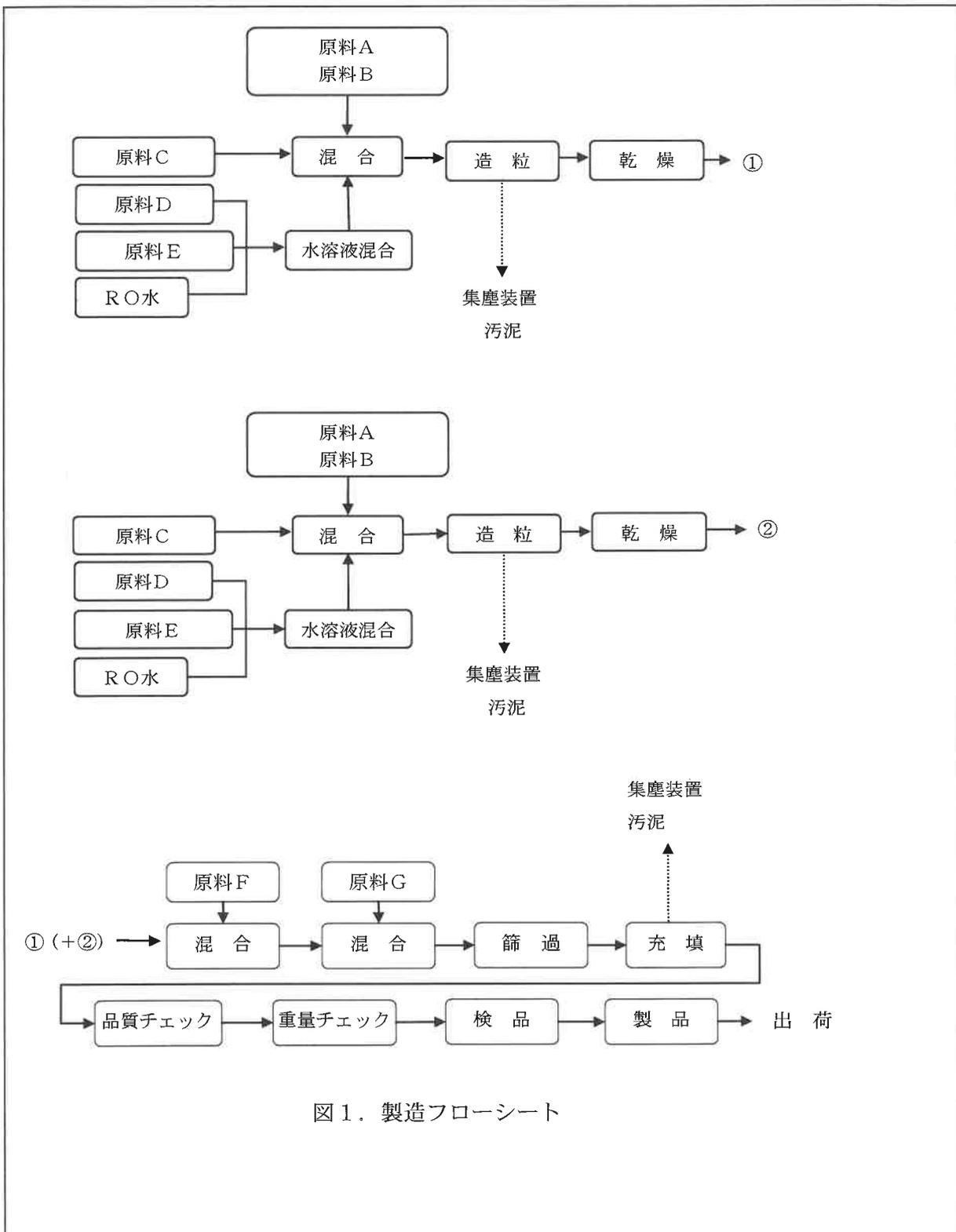
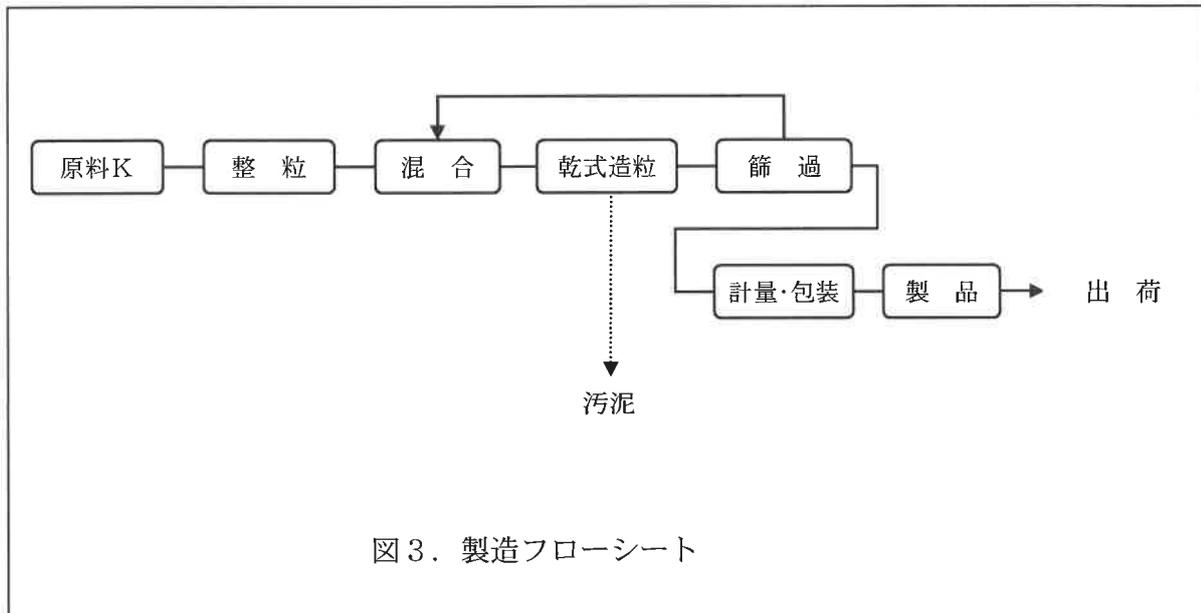
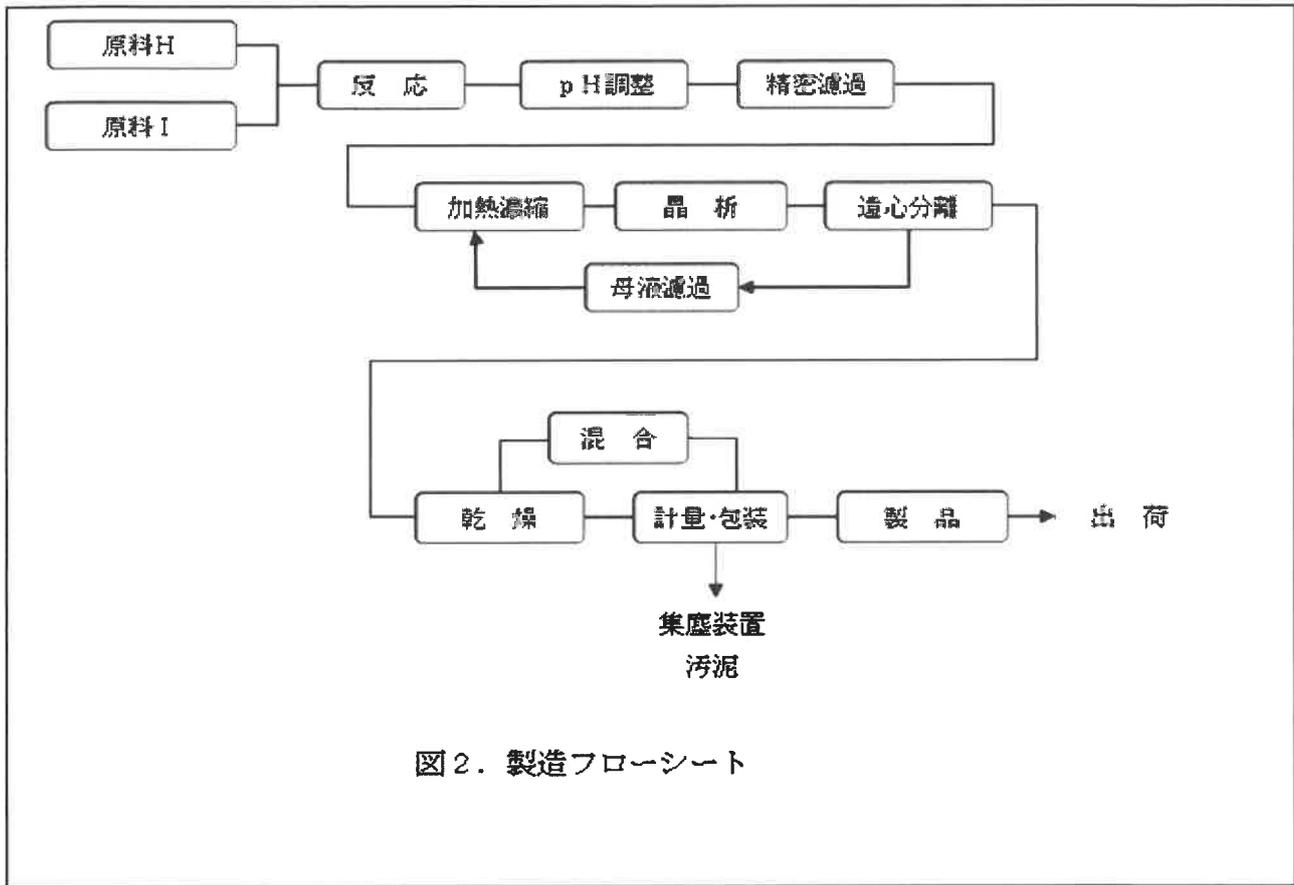
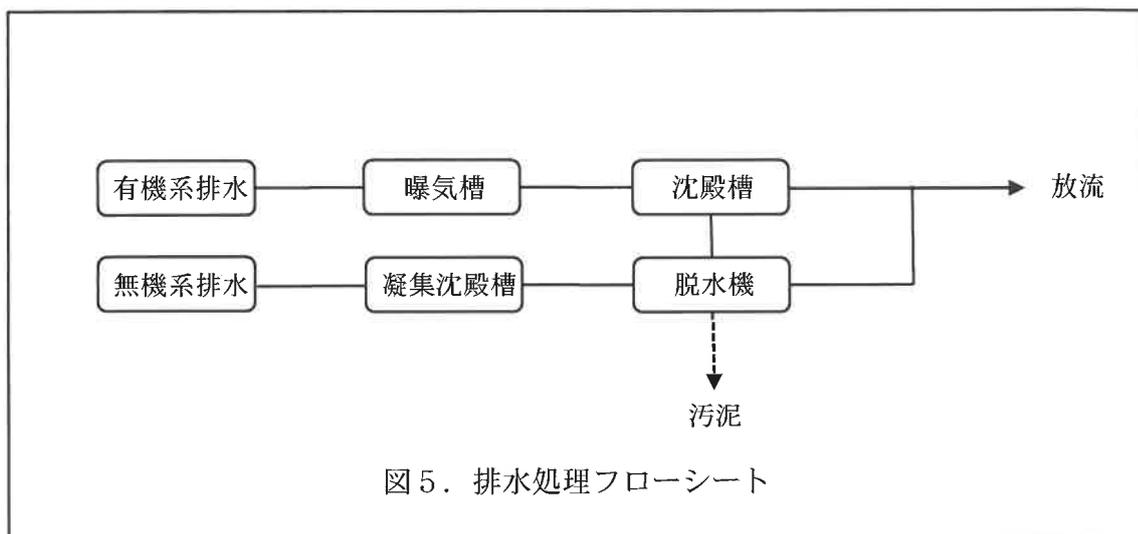
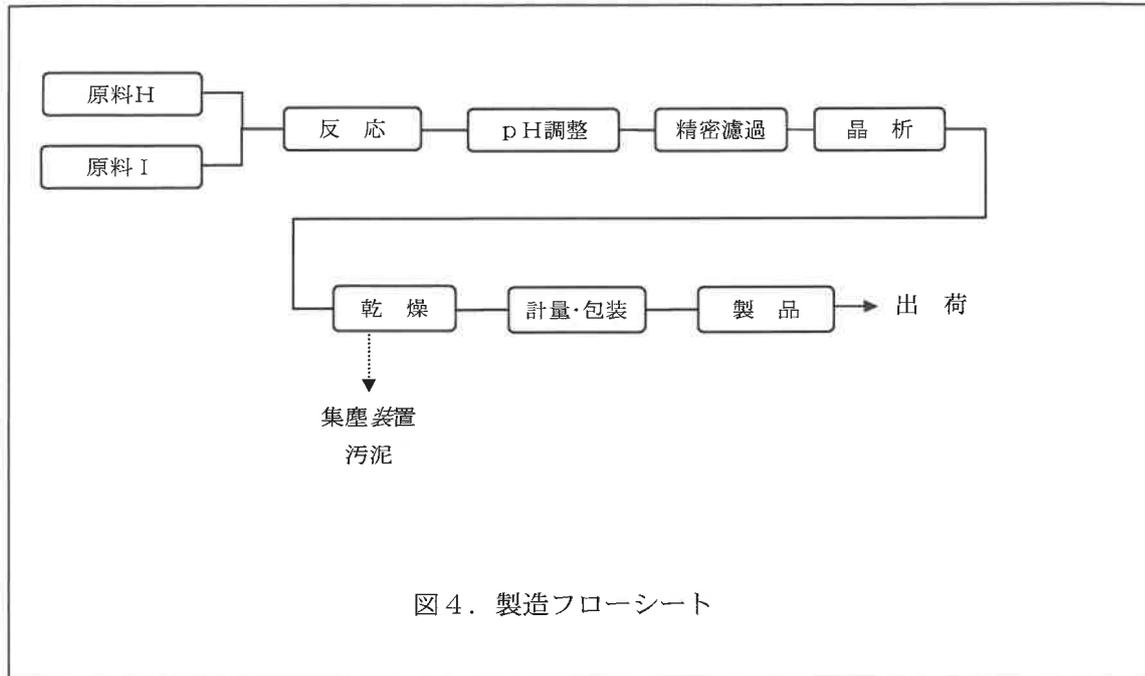


図1. 製造フローシート





産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) ※別紙(第2面関係)参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸・廃アルカリ
	排出量	3903 t	342 t
	(これまでに実施した取組) (汚泥) ・製造設備の更新により製造の効率化を図り発生を抑制した。 ・排水処理設備の増強により排出を抑制した。 ・汚泥の含水率を下げ排出量を抑制した。 (廃酸) ・計画製造、効率化により排出を抑制した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸・廃アルカリ
	排出量	3800 t	335 t
	(今後実施する予定の取組) (汚泥) ・排水処理設備からの汚泥発生量を抑制する。 ・製造設備の更新により製造の効率化を図り発生を抑制する。 (廃酸) ・計画製造の徹底、効率化を図り排出を抑制する。 ※生産量増加見通しにつき、発生量も増加を予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃酸、廃プラスチックは、それぞれ分別保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別は現状と同じとして、全従業員に周知し分別を徹底する。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) ※別紙(第2面関係)参照		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(令和6年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	排出量	253 t
	(これまでに実施した取組) (廃プラスチック類) ・再生利用するために分別を徹底する。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	排出量	200 t
	(今後実施する予定の取組) (廃プラスチック類) ・計画製造の徹底、効率化を図り、排出を抑制する。 ・再生利用可能な袋類の再利用により、排出を抑制する。 ※有価物として処分していた廃プラの産廃化に伴い、排出量が増加。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃酸、廃プラスチック類は、それぞれ分別保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別は現状と同じとして、全従業員に周知し分別を徹底する。	

別紙(第2面関係)

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸・廃アルカリ	廃プラスチック類	
排出量	3903 t	342 t	253 t	t

産業廃棄物の種類				
排出量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸・廃アルカリ	廃プラスチック類	
排出量	3800 t	335 t	200 t	t

産業廃棄物の種類				
排出量	t	t	t	t